


記載者	佐敷 恵威子 委員長
日時・場所	令和7年12月13日 京都橋大学構内
内容	げん Kids★応援隊クリスマス会 京都橋大学の学生が山科区を中心とした地域の行事に継続して参加し、子どもたちに季節や地域の特色を生かした活動を行っている。また、観修おやじの会の方をはじめ地域で子どもたちを支える団体の方とも協力して活動を進めている。
感想	遊びのブースやビンゴ大会など毎回趣向を凝らしている。今回は、たちばな子ども食堂も同時開催をして、子どもたちが学生たちと喜んで遊んだあと食を通してさらに仲を深めていった。子どもたちは毎回楽しみにしている
日時・場所	令和8年1月11日 川田天神社
内容	左義長（例年、子供会と郷友会が主催となって実施。コロナ以降、子供会の参加が見送られたこともあったが、ここ数年は復活。）
感想	子供会そのものの参加人数が減ってきているが、今年も元気な掛け声とともに町内をふれ回って藁や習字等の燃やすものを集め、神社で用意してくれた。残念ながら強風のため点火は後日大人のみで実施。農家の数も減り藁も集めにくい中、粛々と実施されていることに感謝

memo

記載者	板倉 祥浩 委員
日時・場所	令和7年12月31日～令和8年1月1日 御上神社
内容	カウントダウンと甘酒接待 「三上まちづくり100人会」恒例の年末年始イベントで今回は27回目です。 御上神社へ参拝に来られる人を対象にカウントダウンを行い、年明けと同時に花火を打ち上げて新年をお祝いします。また、参拝者に甘酒を振るまいまい。（無料） 3年前からはフォトスポットを設け、SNS等にアップして頂くことを期待して地域の活性化を目指しています。
感想	御上神社は交通の便が良いこともあり、毎年多くの方に来て頂いています。 地元の方より他所の方が多く、このイベントを楽しみに来られる恒例行事となっていることを喜びに思います。

<p>記載者</p>	<p>小澤 郁乃 委員</p>
<p>内容</p>	<p>地域</p> <p>①読書活動推進計画に基づいての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉協議会を通じて依頼があった地域の高齢者サロンでの紙芝居やおはなしの提供 <p>②不登校の親の会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中主の空き家をお借りして、月に一度開催。(不登校の子どもたちの居場所を開催している toiro さんとの共催) <p>③野洲市生涯学習カレッジでの講演会とワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域にコミュニティスクール(学校運営協議会や地域学校協働活動)への理解を深めたり、子どもをまん中にした地域づくり推進のため、自治会や地域ボランティアを対象に今の学校や子どもたちとつながった地域活動の事例発表とワークショップを開催。 <p>④野洲子ども議会実行委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが自分の住む地域を良くするために主体的に考え取り組む野洲子ども議会を開催。子どもたちが自ら社会のしくみを学び、調べ、市に提案していくというプロセスを体験。 <p>学校</p> <p>①読書活動推進計画に基づいての活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週に一度、朝の読み聞かせ活動 <p>②平和活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終戦80年を迎え、校内で平和のパネル展を実施。 ・ 修学旅行で広島を訪問する6年生の総合学習で、ゲストティーチャーとして、広島の前爆と核兵器についての学習を実施。 ・ 6年生が修学旅行で奉納する平和の折り鶴をつづる活動のボランティア。
<p>感想</p>	<p>地域について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的に地域のコミュニティが衰退している中で、定期的に人が集まり、様々な活動を実施されているところは、やはり担い手の力が大きい。地域を元気にしたい、高齢者も子どもたちもみんなが安心してらせる地域でありたい、有事の時のために普段のつながりが大事!・・・という様々な想いを抱かれている。そういう方々のモチベーションを維持していくために、またこういう想いや活動が広がるために、何ができるかを考えていきたい。また、自治会によっては課題は多いが、あらためて、だれのためのくらしなのか、地域なのか、どのようなカタチでも学び続けることを推進していくことが大事だと思った。 <p>学校・子どもについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PTAの解散、保護者会のあり様で、親世代の学校や地域への関りが薄れていることを、どのように考え、今後どのような影響を及ぼすのか。そのために、今何が必要かを、建設的に今一度学運協や地域で話し合う機会があればと思う。また、種まきも大事だが、少ないけれど、今いる協力的な方々を大事にしていく、見つけていく、担い手育て、地域のリーダー的な人を育てることも大事。(篠原小学校では次年度に向けて、福祉教育や人権教育にスポットを当てた協議を実施)

記載者	西川 典子 委員
日時・場所	令和7年12月21日 北部合同庁舎駐車場
内容	<p>中主学区地域学校協働本部主催の「チュッピーフェア」が実施されました。</p> <p>餅つき・バザー・軽トラ市・中主中学校吹奏楽部の演奏、各種団体による出店、幼少中の学校運営協議会主催のグルメコーナーなどが行われました。</p> <p>中主中学校学校運営協議会は、ぜんざいの販売を行いました。</p> <p>小雨降る中、寒い日ではありましたが、地域の方々・各先生方、子どもたちと交流できた一日となりました。</p>
感想	<p>地域・学校園・子どもたちがつながっていく場の一つとして、チュッピーフェアが定着しつつあります。</p> <p>年末なので地域全体の広がりを感じられないですが、定着しつつある一つの事業となっています。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">チュッピー</div> </div>

記載者	富田 由紀子 委員
日時・場所	令和7年10月24日・令和7年11月28日 野洲北中学校 グランド
内容	<p>生活支援体制整備事業において、地域包括支援センターと社協が共同事務局となり各中学校圏域単位で</p> <p>地域住民や専門職を交えた話し合いの場を持っています。</p> <p>野洲北中圏域では「みんなち（みんなでまちづくり@野洲北中圏域）」と名付けて開催し、野洲北中学校の生徒さんにも参加していただいて、地域について意見交換をする機会も設けています。</p> <p>その取り組みの展開において、地域の大人と中学生がもっと顔の見える関係作りができないかと中学校・学校コーディネーターの方に相談し、生徒（サッカー部・野球部）とともに実施予定のあったツタ刈りの場にみんなちのメンバーにも参加を呼びかけて共に作業に取り組みました。</p>
感想	<p>みんなちにおいては、地域の担い手不足に関する課題や世代を超えた住民のつながりづくりができないか、若い世代の声を聞きたいという意見が多く出ていました。そんな中、中学生から出された地域に対する思いや活動への前向きな意見に参加者の皆さんはとても刺激を受けておられました。</p> <p>話し合いの場だけでなく、活動を通じて中学生と交流をしたり、顔の見える関係作りをしていきたいという思いに対する活動のきっかけとして、今回の活動に多くの皆さんに参加していただくことができ、とても大きな一歩になったと思います。</p> <p>今後もみんなちと学校が連携して、自分の住む地域を知り、参加できる取組につなげられるよう支援していきたいと考えています。</p>

記載者	鷲田 新介 委員
日時・場所	令和7年11月28日(金) 野洲学区(野洲小学校～行畑、四ツ家、野洲、万葉台)
内容	野洲学区の行畑、四ツ家、野洲、万葉台地域を歩いて回り、歴史や道(通学路)を知る。野洲小学校運営協議会、太田会長から説明(行畑愛宕地蔵祭りの謂れや、祇王井川、蓮照寺、十輪院、野洲出壺、新川神社など)参加者10名。野洲に長年住んでいても知らないことが多く新たな発見がある。また歩くことにより気づきが多い。中山道と朝鮮人街道、野洲と行畑の境界線を知ることが出来る。
感想	野洲に長く住んでいても知らないことが多く、太田会長から野洲の今と昔の違いを知ることが出来、貴重な体験となりました。見たことがある。や、少し知っている。から『なるほどっ。』『そうなんだっ』というような発見がたくさんあります。実際歩いてみると普段、車で通っている場所でも気づきがあり地元愛がより芽生え貴重な体験となりました。ぜひこの取り組みを続けていき、多くの方に『野洲』を知ってもらいたいです。

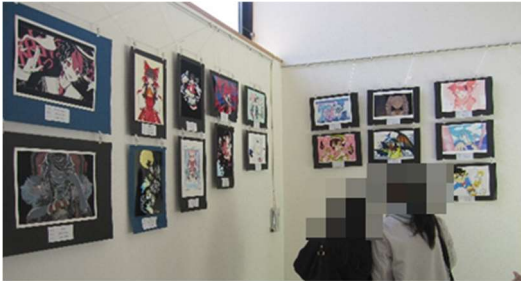
memo

記載者	鷲田 新介 委員
日時・場所	令和7年12月20日(日) 野洲図書館ホール
内容	講演会『図書館を育てる』 講師：岸本岳文氏(元滋賀県立図書館長) 図書館の歴史を学ぶ ライブラリー・ミーティング 野洲図書館のこれからの意見交換会 早田館長からこれからの野洲図書館
感想	学びたいことを学び、知りたいことを知る、そして自分で考え、どう生きるかを自分で決める。 これは文化的な社会の基本であり、図書館はそのために欠かせない施設です。その『図書館』を見つめ直しみんなで意見交換会をしました。利用時間10時から18時では短いという意見やより市民が集まる場としての活用方法などさまざまな意見が出ていて、このような意見交換の場がもっとあればと思いました。そしてよりよい活用方法を着実に進めていき、自分たちで作る『図書館』であればいいなと思います。

記載者	上田 智子 委員
日時・場所	令和7年11月～12月 野洲図書館 森のくまさん コミュニティセンター祇王 ホビーハウス
内容	市民活動団体 「絵本読み語りの会トッポンチーノ」としての活動 ○①大人のためのピアノと絵本のコンサート開催 対象 一般 ○②小さなアートフェスティバル開催 対象 一般 ○祇王学区子育て広場 参加 対象 未就園の祇王学区の親子 ○ホビーハウス 野洲地域共生社会協会 ワクワククリスマス 参加 対象 こどもからお年寄りまで ★1月23日(金)ノスタルジックコンサート開催(懐かしの絵本や紙芝居と歌)対象:一般 ★1月31日(日)パパコミュニティ パパ友の会 主催 大人もいっぱい絵本を楽しもう イベント参加予定 対象 未就学の子育て中のパパ
感想	○上記①②の開催行事について 音楽、絵本の読み語り、演劇といろいろな分野とのコラボで文化芸術に触れる機会を設けた。それぞれが好きなことを披露し、共有していただけたことと、今年は演者が小学生、中学生、大学生から年配者まで幅広い年代が、交流できたことは成果があった。 ○はじめて絵本と出会う乳幼児と子育て中の保護者さんへのエールを込めて内容を考えあえたことはよかった。絵本やわらべうたを通じて絶対的な人への信頼関係を築くこの時期に微力ながらアプローチしていけたらと思う。 ○多世代交流の拠点としてのホビーハウスにおける当団体の参加は、「子ども向け」「大人向け」と 内容の精選は必要であるが、絵本や紙芝居の根幹にある、同じ場を共有して共に楽しめることを大切にできた時間であった。 ○1月開催のノスタルジックコンサートでは「思い出す」「話す」「笑う」「歌う」を人と一緒に楽しむことを、脳と心のトレーニングとして広げたい ○1月末予定のパパ友の会では、関わることの少なかった世代で、絵本を通じて交流を図れることがとても楽しみである。今後も様々な形で応援していきたい。

memo

記載者	上田 智子 委員
日時・場所	令和7年11月～12月 野洲幼稚園
内容	<p>学校園運営協議会としての活動（委員としての活動）</p> <p>主には駅前自治会の方と学校応援団の方→総称して「ぼかぼかさん」の協力を得て活動</p> <p>○園内作品展鑑賞</p> <p>全学年の造形や描画活動の作品をホールに展示されたものを観覧した。</p> <p>○ごっこ遊びの活動参加</p> <p>1回目：おみせごっこ・売り買い遊びの前段階の保育活動に参加 一緒にお店の品物を作ったり、店構えを作ったり修理したりした。</p> <p>3歳児クラスでは、ままごとのごちそうを食べたり、一緒にどんぐりを転がして遊んだりした。</p> <p>2回目：ごっこの交流活動では、子どもの作ったアトラクションで説明を受けながら遊んだり、客になって、レストランやお店で買い物をしたりした。</p> <p>○音楽会リハーサル鑑賞</p> <p>全学年の歌、合奏、手遊びなどを鑑賞した。</p> <p>★1月15日（木）野洲幼稚園おでんパーティー参加予定</p>
感想	<p>○学校園運営協議会が園に導入され2年目。従来からの地域交流の形をいかしながら、○野洲幼稚園へ出向くハードルを下げる。○園の子どもの様子を知っていただく○お互いに親しみをもって接する ことを目標に進めているところである。ぼかぼかさんのオリジナル名札をつくることによって、浸透しつつある。ごっこ遊びを共にするなどの協同の活動は、子どもとの距離も近く、保育の様子もうかがえ、意味は大きいと思われた。○しかしながら「学校・園と地域が相互に対等なパートナーとしての連携、協力の形に具体的活動はまだまだ試行錯誤である。さらに野洲幼稚園の移転・民営化が提起された。学校・園運営協議会を今後どのようにすすめていくのか、視野にいれ、推進していく必要がある。</p>

記載者	山口 孝志 委員
日時・場所	令和7年11月30日（日） コミセンしのはら
内容	<p>コミセンしのはら トレトレ&文化祭（28日～30日）で、吹奏楽部がホール発表を行った。また、美術部の作品を期間中展示した。吹奏楽部の発表は約30分であった。楽器の搬出入などについては、コミセンしのはらと打ち合わせを行い協力いただいた。</p> 
感想	<p>当日は、リハーサル時からホールに人があふれていて。地域の方の期待が伝わってくる発表となった。吹奏楽部の部員も発表の場として楽しみにしていた。美術部の作品展示も階段踊り場にあり、たくさんの人に観覧してもらっていた。地域の方の学校への思いを生徒が直接感じられる機会としてよい時間でした。</p>

記載者	松本 淳子 委員
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新春書き初めもちつき大会 場所：コミセンぎおう (内容) 地域の方に教えてもらいながら書き初めをした後、杵と臼でもちつき体験し、きなこ餅やあんこ餅、おろし餅などをいただく。 ・1年生生活科で昔遊び 場所：体育館 (内容) 地域の昔遊び名人さんと1年生が交流 ・2年生算数科で九九マスター3回目 場所：体育館 (内容) 地域や保護者の方に来てもらって、九九を聞いていただく ・3年生昔のくらし体験 場所：栗東歴史民俗博物館 (内容) 火吹き体験、明かり体験 ・6年生と保護者がいっしょにそうじ 場所：校舎 (内容) 卒業を前に、感謝の気持ちをこめて学校をきれいにする愛校活動 ・スクールガードさんありがとうの会 場所：運動場 (内容) 1年間安全安心の見守りでお世話になった地域の方に感謝の気持ちを伝える ・卒業を祝う会&地域のみなさんありがとうの会 場所：体育館と教室 (内容) 日頃から様々な面でお世話になった方を招待し、卒業を祝う会をみていただく。その後、6年生が学校を代表して感謝の気持ちを伝える
感想	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンターで行われた新春書き初め&餅つき大会は、世代を超えた温かい交流の場となり、青空のもと、たくさんの笑顔が広がるすてきな時間となった。餅つきも書き初めも、子どもたちが地域の皆さんに支えられながら、うれしそうに日本の伝統文化を体験する姿が印象的で、こうした体験は、家庭や学校だけでは得難い「地域で学ぶ力」を育む貴重な機会だと感じた。このような機会を企画準備してくださる地域の強い思いを実感し、地域づくりに結びつく取組として非常に感謝している。 ・卒業を祝う会では、日頃お世話になっている地域の方を招き、次期最高学年となる5年生が主体となって、6年生をお祝いする会を行った。卒業生から在校生への引継ぎ式では、6年生がこれまで頑張ってきた思いやこれから託したい思いを先輩として堂々と自分の言葉で語り、5年生がそのバトンを受継ぐ姿が見られ、それを目にした地域の方が非常に感動され、この時期に行われる学校の良き伝統としてこれからも大切にしてほしいと感想をいただいた。また、児童が地域の方に感謝のメッセージや手作りメダルをプレゼントし、大人も子どもも、相手を想う温かいうれしい気持ちが広がるよい機会になったと感じる。

memo
